

# お金のデザイン・エッセンシャル・ プロダクツ・ファンド

いしづえ

## 愛称：明日への礎

### 運用報告書（全体版）

第2期（決算日 2024年9月10日）

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・ファンド」は、2024年9月10日に第2期の決算を行いました。  
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

#### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2022年9月28日設定）	
運用方針	「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・ファンド」は、マザーファンド受益証券への投資を行います。以下はマザーファンドである「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・マザーファンド」の運用方針です。 ①人が生きるために必要不可欠と考えられる水関連テーマ、食料関連テーマ、エネルギー関連テーマに上場投資信託証券（ETF）を通じて投資を行うことにより、長期的にリターンを獲得を目指します。 ②投資信託証券（ETF）等への投資は原則として高位を維持します。但し、市況動向等により弾力的に変更を行う場合があります。 ③組入外貨建資産については原則為替ヘッジは行いませんが、金利・為替状況によってはヘッジを実施する可能性があります。 ④資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。	
主要運用対象	ベビーファンド	お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている上場投資信託証券（ETF）等を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	①上場投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①上場投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年9月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

<照会先>

電話番号：03-6629-7090

（受付時間：委託会社の営業日の9：30～17：00）

ホームページ：<https://www.money-design.com/>



東京都千代田区紀尾井町1番3号

**【運用報告書の表記について】**

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

**○設定以来の運用実績**

決 算 期	基 準 額 (分配落)	準 価 額			投 資 信 託 純 資 産 組 入 比 率 総 額	
		税 分 込 配 金	期 騰 落	中 率		
(設定日) 2022年9月28日	円 10,000	円 -		% -	% -	百万円 8,210
1期(2023年9月11日)	10,300	120		4.2	96.4	17,009
2期(2024年9月10日)	9,614	0		△6.7	97.7	6,536

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

**○当期中の基準価額と市況等の推移**

年 月 日	基 準 額	準 価 額		投 資 信 託 純 資 産 組 入 比 率 総 額
		騰 落	率	
(期 首) 2023年9月11日	円 10,300		% -	% 96.4
9月末	10,220	△0.8		99.4
10月末	9,354	△9.2		99.4
11月末	9,787	△5.0		99.3
12月末	10,189	△1.1		99.1
2024年1月末	9,972	△3.2		99.8
2月末	10,281	△0.2		99.9
3月末	10,795	4.8		98.9
4月末	11,004	6.8		100.4
5月末	11,182	8.6		99.8
6月末	11,010	6.9		99.3
7月末	10,591	2.8		100.4
8月末	10,056	△2.4		100.2
(期 末) 2024年9月10日	9,614	△6.7		97.7

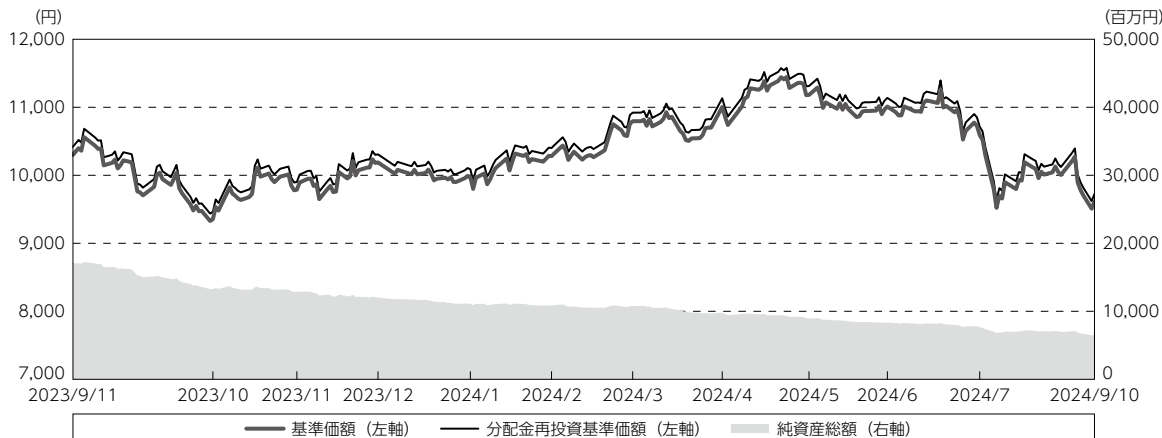
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

(2023年9月12日～2024年9月10日)

### 期中の基準価額等の推移



期首：10,300円

期末：9,614円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 6.7%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2023年9月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示していません。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、-6.7%となりました。

当ファンドは、「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・マザーファンド」受益証券を組み入れることにより実質的な運用を当該マザーファンドにおいて行っております。

当期も「食料」、「水」、「エネルギー(資源エネルギー、新エネルギー)」関連のETFに投資を行いました。このうち水関連のETFが大きく上昇し、ファンドの基準価額にプラス寄与しました。一方で、「食料」、「資源エネルギー」、「新エネルギー」はマイナス寄与しました。リチウム関連およびレアアース関連の企業の株価が総じて軟調であったため、資源エネルギーが比較的大きなマイナス寄与となっています。

前期末に1ドル147円近辺だった米ドルは、日米の金利差などを背景に円安方向で推移し、2024年7月上旬には161円台半ばまで円安が進行しましたが、その後は米国の利下げ観測や日銀による利上げなどを受けて円高となり、143円台半ばで期末を迎えました。当ファンドは為替ヘッジを行っていないため、この為替相場の変動がファンドの基準価額にマイナスの影響をもたらし、パフォーマンスにもマイナス寄与しています。

## 投資環境

世界の株式市場は、全体としては上昇しました。期初から2024年7月上旬までにかけては、欧米のインフレ進行および主要国中央銀行の金融引き締め見通しなどを受けて一時的に下落する局面もありましたが、比較的堅調な景気指標を背景にソフトランディング期待が広がったことなどから全体として上昇傾向で推移しました。7月中旬に、米国による中国への半導体規制強化への警戒感やAIブームの先行きに対する不透明感などから、それまで株式市場をけん引していたハイテク関連株が下落しました。その後、株式市場は一旦持ち直したものの、9月に入ると予想を下回る米雇用統計などを受けて米国景気の先行きへの懸念が広がり、やや軟調な展開となって期末を迎えました。

市場の内容的には、業種や企業規模などによって、まちまちな結果となりました。人工知能関連の需要などに支えられて、半導体やネットワーク関連など大型テクノロジー企業が通期では大幅に上昇した一方で、米国や中国の景気の先行きに対する不透明感などからエネルギー、素材、一般消費財関連の一部の企業の株価が比較的冴えない動きとなりました。前述の通り、7月ごろから傾向に変化が見られたものの、通期では全体として大型の成長株に比べて小型の割安株が劣後する傾向が見られました。

地域・国別で見ると、各株式市場とも概ね米国市場と類似の推移となりましたが、欧州では政局不安などからフランス株が他の国に比べて低いリターンとなっています。アジアでは、半導体関連企業などが上昇した一方で、中国の不動産市場の低迷や景気減速懸念などから香港市場などが下落しています。日本株式市場も、7月上旬まで比較的堅調な推移となり、TOPIXは史上最高値を更新しましたが、その後は、世界的にハイテク関連株が下落したことや、日本銀行による利上げ、為替が円高傾向となったことなどを受けて、期末にかけて軟調に推移しました。

このような市場環境のなか、当ファンドが保有するETFはテーマ毎にまちまちな動きとなりましたが、全体としては下落しました。テーマ別では「水」が上昇しましたが、それ以外が下落しています。水関連株式会社では、水道事業を行う企業、配管設備などを手掛ける企業、水処理技術を持つ企業などが通期で株式市場全体と同程度に上昇しました。食料関連株式会社は、肥料や除草剤などの農業化学や農業用機器、農産物加工関連企業の株価が下落しました。新エネルギー関連株式会社は、太陽光パネルや太陽光発電設備関連の企業が大きく下落しました。資源エネルギー関連株式会社では、原油価格が軟調に推移する中、石油・ガス関連企業の株価が下落したほか、リチウムやレアアース関連が大幅に下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・マザーファンド」受益証券への投資を通じ、主として世界の上場投資信託証券（ETF）に投資することで、実質的に世界の株式等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、生きるために必要不可欠と思われる水関連テーマ、食料関連テーマ、エネルギー関連テーマに分散投資し、投資信託財産の長期的な成長を目指すことです。これに向けて、各テーマに即したETFを選別し、ポートフォリオ全体に対するテーマ毎の価格変動リスクの寄与が概ね均等になるように配分比率を決定する運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

## 分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第2期
	2023年9月12日～ 2024年9月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	76

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

引き続き、「お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・マザーファンド」受益証券への投資を通じ、水、食料、エネルギーに関連する企業を中心に構成された世界の上場投資信託証券(ETF)に投資を行うことにより、効率的な運用を行うことを目指します。ETFの選定には独自の評価基準を用い、取引コストや流動性なども考慮しながら組入比率を調整して参ります。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年9月12日～2024年9月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	171	1.645	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 84)	(0.812)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 84)	(0.812)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.052	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
( 投 資 信 託 証 券 )	( 5)	(0.052)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0)	(0.001)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	7	0.063	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 4)	(0.036)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 2)	(0.021)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	183	1.761	
期中の平均基準価額は、10,370円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

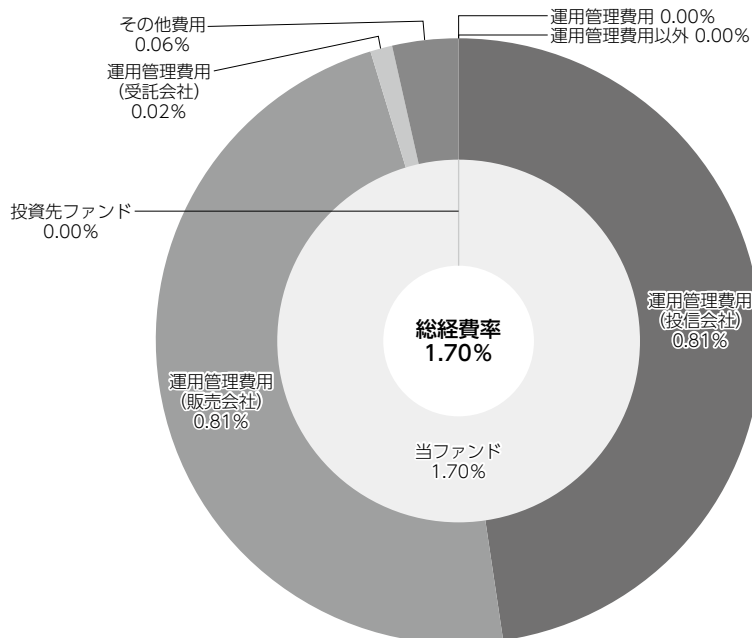
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.70%です。



(単位：%)

総経費率(①+②+③)	1.70
①当ファンドの費用の比率	1.70
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年9月12日～2024年9月10日)

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・マザーファンド	千口 303,942	千円 318,331	千口 9,545,962	千円 10,090,404

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年9月12日～2024年9月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年9月12日～2024年9月10日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2024年9月10日現在)

### 親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期	
	口数	口数	評価額
お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・マザーファンド	千口 15,749,520	千口 6,507,499	千円 6,536,132

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

## ○投資信託財産の構成

(2024年9月10日現在)

項目	当期	
	評価額	比率
お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・マザーファンド	千円 6,536,132	% 97.5
コール・ローン等、その他	170,434	2.5
投資信託財産総額	6,706,566	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(6,476,050千円)の投資信託財産総額(6,625,286千円)に対する比率は97.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=143.53円、1ユーロ=158.33円。



○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年9月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,706,566,012
コール・ローン等	81,400,146
お金のデザイン・エッセンシャル・ プロダクツ・マザーファンド(評価額)	6,536,132,701
未収入金	89,033,165
(B) 負債	170,433,311
未払解約金	96,861,174
未払信託報酬	72,468,576
その他未払費用	1,103,561
(C) 純資産総額(A - B)	6,536,132,701
元本	6,798,308,337
次期繰越損益金	△ 262,175,636
(D) 受益権総口数	6,798,308,337口
1万円当たり基準価額(C/D)	9,614円

- (注) 当ファンドの期首元本額は16,515,081,145円、期中追加設定元本額は41,234,017円、期中一部解約元本額は9,758,006,825円です。  
 (注) 1口当たり純資産額は0.9614円です。

○損益の状況 (2023年9月12日～2024年9月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	△286,742,762
売買益	369,577,294
売買損	△656,320,056
(B) 信託報酬等	△181,409,381
(C) 当期損益金(A + B)	△468,152,143
(D) 前期繰越損益金	46,374,514
(E) 追加信託差損益金	159,601,993
(配当等相当額)	( 5,436,708)
(売買損益相当額)	( 154,165,285)
(F) 計(C + D + E)	△262,175,636
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F + G)	△262,175,636
追加信託差損益金	159,601,993
(配当等相当額)	( 5,465,936)
(売買損益相当額)	( 154,136,057)
分配準備積立金	46,374,514
繰越損益金	△468,152,143

- (注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,465,936円)および分配準備積立金(46,374,514円)より分配対象収益は51,840,450円(1万円当たり76円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

○お知らせ

該当事項はございません。

# お金のデザイン・ エッセンシャル・プロダクツ・ マザーファンド

## 運用報告書

第2期（決算日 2024年9月10日）  
（2023年9月12日～2024年9月10日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：2022年9月28日設定）
運用方針	<p>①人が生きるために必要不可欠と考えられる水関連テーマ、食料関連テーマ、エネルギー関連テーマに上場投資信託証券（ETF）を通じて投資を行うことにより、長期的にリターンの獲得を目指します。</p> <p>②投資信託証券（ETF）等への投資は原則として高位を維持します。但し、市況動向等により弾力的に変更を行う場合があります。</p> <p>③組入外貨建資産については原則為替ヘッジは行いませんが、金利・為替状況によってはヘッジを実施する可能性があります。</p> <p>④資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。</p>
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている上場投資信託証券（ETF）等を主要な投資対象とします。
組入制限	<p>①上場投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p>

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	証 組 入 比 率 総 額	
		期 騰 落	中 率			
(設定日) 2022年9月28日	円 10,000		% —		% —	百万円 8,210
1期(2023年9月11日)	10,580		5.8		98.4	16,662
2期(2024年9月10日)	10,044		△5.1		97.7	6,535

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産 額	証 組 入 比 率 総 額
		騰 落	率		
(期 首) 2023年9月11日	円 10,580		% —		% 98.4
9月末	10,507		△0.7		99.3
10月末	9,632		△9.0		99.1
11月末	10,091		△4.6		98.9
12月末	10,517		△0.6		98.5
2024年1月末	10,310		△2.6		99.0
2月末	10,640		0.6		99.0
3月末	11,187		5.7		98.8
4月末	11,419		7.9		100.2
5月末	11,620		9.8		99.3
6月末	11,457		8.3		98.8
7月末	11,040		4.3		99.6
8月末	10,501		△0.7		99.2
(期 末) 2024年9月10日	10,044		△5.1		97.7

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2023年9月12日～2024年9月10日)

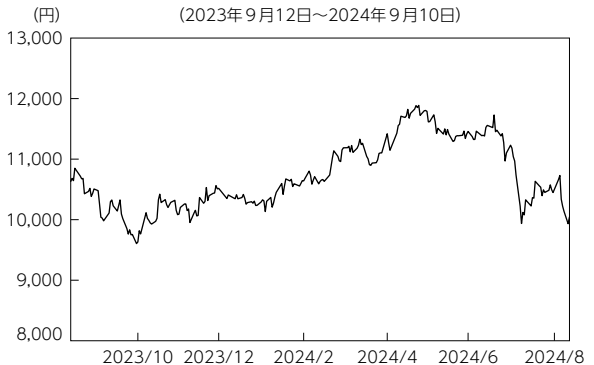
## 期中の基準価額等の推移

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、-5.1%となりました。当期も「食料」、「水」、「エネルギー（資源エネルギー、新エネルギー）」関連のETFに投資を行いました。このうち水関連のETFが大きく上昇し、ファンドの基準価額にプラス寄与しました。一方で、「食料」、「資源エネルギー」、「新エネルギー」はマイナス寄与しました。リチウム関連およびレアアース関連の企業の株価が総じて軟調であったため、資源エネルギーが比較的大きなマイナス寄与となっています。

前期末に1ドル147円近辺だった米ドルは、日米の金利差などを背景に円安方向で推移し、2024年7月上旬には161円台半ばまで円安が進行しましたが、その後は米国の利下げ観測や日銀による利上げなどを受けて円高となり、143円台半ばで期末を迎えました。当ファンドは為替ヘッジを行っていないため、この為替相場の変動がファンドの基準価額にマイナスの影響をもたらし、パフォーマンスにもマイナス寄与しています。

【基準価額の推移】



## 投資環境

世界の株式市場は、全体としては上昇しました。期初から2024年7月上旬までにかけては、欧米のインフレ進行および主要国中央銀行の金融引き締め見通しなどを受けて一時的に下落する局面もありましたが、比較的堅調な景気指標を背景にソフトランディング期待が広がったことなどから全体として上昇傾向で推移しました。7月中旬に、米国による中国への半導体規制強化への警戒感やAIブームの先行きに対する不透明感などから、それまで株式市場をけん引していたハイテク関連株が下落しました。その後、株式市場は一旦持ち直したものの、9月に入ると予想を下回る米雇用統計などを受けて米国景気の先行きへの懸念が広がり、やや軟調な展開となって期末を迎えました。

市場の内容的には、業種や企業規模などによって、まちまちな結果となりました。人工知能関連の需要などに支えられて、半導体やネットワーク関連など大型テクノロジー企業が通期では大幅に上昇した一方で、米国や中国の景気の先行きに対する不透明感などからエネルギー、素材、一般消費財関連の一部の企業の株価が比較的冴えない動きとなりました。前述の通り、7月ごろから傾向に変化が見られたものの、通期では全体として大型の成長株に比べて小型の割安株が劣化する傾向が見られました。

地域・国別で見ると、各株式市場とも概ね米国市場と類似の推移となりましたが、欧州では政局不安などからフランス株が他の国に比べて低いリターンとなっています。アジアでは、半導体関連企業などが上昇した一方で、中国の不動産市場の低迷や景気減速懸念などから香港市場などが下落しています。日本株式市場も、7月上旬まで比較的堅調な推移となり、TOPIXは史上最高値を更新しましたが、その後は、世界的にハイテク関連株が下落したことや、日本銀行による利上げ、為替が円高傾向となったことなどを受けて、期末にかけて軟調に推移しました。

このような市場環境のなか、当ファンドが保有するETFはテーマ毎にまちまちな動きとなりましたが、全体としては下落しました。テーマ別では「水」が上昇しましたが、それ以外が下落しています。水関連株式では、水道事業を行う企業、配管設備などを手掛ける企業、水処理技術を持つ企業などが通期で株式市場全体と同程度に上昇しました。食料関連株式は、肥料や除草剤などの農業化学や農業用機器、農産物加工関連企業の株価が下落しました。新エネルギー関連株式は、太陽光パネルや太陽光発電設備関連の企業が大きく下落しました。資源エネルギー関連株式では、原油価格が軟調に推移する中、石油・ガス関連企業の株価が下落したほか、リチウムやレアアース関連が大幅に下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界の上場投資信託証券（ETF）に投資することで、実質的に世界の株式等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、生きるために必要不可欠と思われる水関連テーマ、食料関連テーマ、エネルギー関連テーマに分散投資し、投資信託財産の長期的な成長を目指すことです。これに向けて、各テーマに即したETFを選別し、ポートフォリオ全体に対するテーマ毎の価格変動リスクの寄与が概ね均等になるように配分比率を決定する運用を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

## ○今後の運用方針

引き続き、水、食料、エネルギーに関連する企業を中心に構成された世界の上場投資信託証券（ETF）に投資を行うことにより、効率的な運用を行うことを目指します。ETFの選定には独自の評価基準を用い、取引コストや流動性なども考慮しながら組入比率を調整して参ります。

## ○1万口当たりの費用明細

(2023年9月12日～2024年9月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 )	6 ( 6 )	0.052 (0.052)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 投 資 信 託 証 券 )	0 ( 0 )	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	4 ( 4 ) ( 0 )	0.037 (0.035) (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	10	0.090	
期中の平均基準価額は、10,743円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年9月12日～2024年9月10日)

## 投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外	アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
	iShares Agribusiness UCITS ETF	4,719	216	139,793	6,223
	First Trust Water ETF	5,281	476	76,785	7,079
	First Trust NASDAQ Clean Edge Green Ener	30,536	1,150	77,061	2,869
	First Trust Global Wind Energy ETF	20,490	312	223,554	3,435
	Global X Lithium & Battery Tech ETF	19,819	917	51,356	2,370
	GLOBAL X URANIUM ETF	51,768	1,421	208,577	5,963
	INVESCO WATER RESOURCES ETF	7,859	452	119,846	7,125
	INVESCO S&P GLOBAL WATER IND	6,292	322	123,975	6,414
	Invesco Global Water ETF	12,187	451	179,374	6,774
	INVESCO SOLAR ETF	26,274	1,233	65,144	3,013
	ISHARES MSCI AGRICULTURE PRODUCERS ETF	8,820	337	167,442	6,192
	ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	37,222	532	204,935	2,918
	ENERGY SELECT SECTOR SPDR	9,109	798	56,662	5,040
国	VANECK AGRIBUSINESS ETF	5,433	413	76,605	5,647
	VanEck Rare Earth/Strategic Metals ETF	20,636	1,074	40,593	2,172
	小計	266,445	10,110	1,811,702	73,240

(注) 金額は受け渡し代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年9月12日～2024年9月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年9月10日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)	口	口	千米ドル	千円	%
iShares Agribusiness UCITS ETF	234,127	99,053	4,408	632,802	9.7
First Trust Water ETF	107,404	35,900	3,689	529,545	8.1
First Trust NASDAQ Clean Edge Green Ener	103,882	57,357	1,860	266,978	4.1
First Trust Global Wind Energy ETF	334,843	131,779	2,195	315,156	4.8
Global X Lithium & Battery Tech ETF	87,481	55,944	1,978	284,008	4.3
GLOBAL X URANIUM ETF	258,841	102,032	2,406	345,467	5.3
INVESCO WATER RESOURCES ETF	168,297	56,310	3,753	538,676	8.2
INVESCO S&P GLOBAL WATER IND	180,783	63,100	3,679	528,098	8.1
Invesco Global Water ETF	254,117	86,930	3,528	506,443	7.7
INVESCO SOLAR ETF	84,117	45,247	1,727	247,887	3.8
ISHARES MSCI AGRICULTURE PRODUCERS ETF	282,216	123,594	4,465	640,926	9.8
ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY	310,173	142,460	1,975	283,603	4.3
ENERGY SELECT SECTOR SPDR	78,044	30,491	2,641	379,125	5.8
VANECK AGRIBUSINESS ETF	131,821	60,649	4,382	629,019	9.6
VanEck Rare Earth/Strategic Metals ETF	68,621	48,664	1,797	257,946	3.9
合 計	2,684,767	1,139,510	44,490	6,385,687	
口数・金額 銘柄数<比率>	15	15	-	<97.7%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2024年9月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 6,385,687	% 96.4
コール・ローン等、その他	239,599	3.6
投資信託財産総額	6,625,286	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産 (6,476,050千円) の投資信託財産総額 (6,625,286千円) に対する比率は97.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=143.53円、1ユーロ=158.33円。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年9月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,710,544,370
コール・ローン等	157,680,359
投資信託受益証券(評価額)	6,385,687,347
未収入金	167,176,664
(B) 負債	174,708,038
未払金	85,674,873
未払解約金	89,033,165
(C) 純資産総額(A-B)	6,535,836,332
元本	6,507,499,703
次期繰越損益金	28,336,629
(D) 受益権総口数	6,507,499.703口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,044円

(注) 当ファンドの期首元本額は15,749,520,239円、期中追加設定元本額は303,942,007円、期中一部解約元本額は9,545,962,543円です。

(注) 2024年9月10日現在の元本の内訳は以下の通りです。  
・お金のデザイン・エッセンシャル・プロダクツ・ファンド  
6,507,499,703円

(注) 1口当たり純資産額は1.0044円です。

## ○損益の状況 (2023年9月12日～2024年9月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	166,905,932
受取配当金	165,912,661
受取利息	993,260
その他収益金	11
(B) 有価証券売買損益	△ 518,092,334
売買益	1,079,434,486
売買損	△1,597,526,820
(C) 保管費用等	△ 3,839,447
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 355,025,849
(E) 前期繰越損益金	913,415,254
(F) 追加信託差損益金	14,389,581
(G) 解約差損益金	△ 544,442,357
(H) 計(D+E+F+G)	28,336,629
次期繰越損益金(H)	28,336,629

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。